

乳腺超音波検査 マニュアル

更新日 2024年1月19日

改訂 2025年6月17日

作成担当 奥畑

【準備】

PC・プリンター

≪健診支援システム・STELLAR Order≫

腹部と同様に各システムを起動する。

ウォーマー・超音波装置

≪機器の立ち上げ≫

腹部と同様に各機器を立ち上げる。

【検査フロー】

- ① QRコードを読み取り受診者名を確認し登録する。
- ② レポートが自動で開くので前回画像で所見を確認してから検査を始める。
- ③ シールが3枚発行されるので、~~枠なし・チェックシート、枠あり・確認用/問診票用として各々貼付する。~~枠あり:問診票用として貼付する。他2枚は破棄するため、メモ(確認)用とする。**※シールはチェックシートに貼らない。(2025/06/17より)**
- ④ 超音波装置はGet Work listにて患者情報取得する。
- ⑤ 開始の前には検査項目 (Abdomen、Breast、Carotid、Thyroid) を選択後、受診者情報を連携し、本人確認をしてから検査を始める。装置本体へ情報が連携されない時は再送し、装置本体側で再度取得をする。
- ⑥ 検査を開始し、操作手順に沿って観察する。必要に応じて計測をする。

【操作手順】

受診者の呼び込み →検査開始

- ① 室内の準備が整った上で*1、受診者を番号で呼び入室させる。

*1: ベッドにはバスタオルを敷き、まくらを置く。次亜塩素酸水で消毒を都度行う。ゼリーふき取りにレンタルのおしぼりを温めておき、乾拭き用にフェイスタオルを提供する。

検査終了 →レポート作成

- ① ゼリーを拭き取っていただき、受診者を退室させる。
- ② ステラに、手順*2に沿って所見を入力しレポートを一次確定の状態にする。

*2: 別紙 (所見入力 of 取り決め) 参照

【検査結果の取り扱い】

① レポート入力

- ・ 所見のない場合

異常なしを入力し一次確定

- ・ 所見ありの場合

部位・所見を入力

所見画像をすべてレポートに貼り付け、一次確定

② 二次読影に提出(伊勢崎業務部)

③ 読影確認^{*3}

- ・ 健診部共有 → 個人別フォルダー → ★エコー確認用 → 依頼のフォルダー → 未開封のフォルダーの PDF を印刷し、読影の内容を確認する。

- ・ ^{*3} : 担当者が専用のアカウントで実施する。別紙(所見入力の取り決め)参照

- ・ 性状の異なる所見はまとめてひとつずつの所見として扱う。

【日常点検】

腹部超音波に準じて実施する。

① 使用環境に問題がないか確認

② 機器の清掃

③ 消耗品補充

【機器メンテナンス】

- ・ 腹部超音波のマニュアルに準じて実施する。

【業務上の注意事項】

- ・ 所見に該当する写真は貼り付け、カテゴリーや左右に関係なく一次入力する。
- ・ 性状の異なる所見はまとめてひとつずつの所見として扱う。
- ・ 問診で聞き取った手術歴、既往などの情報はできるだけ技師コメントに入力する。
- ・ 技師コメントの後に名前を入力する。